



平成 31 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 極東産機株式会社
代表者名 代表取締役社長 頃安 雅樹
(JASDAQ・コード 6233)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理本部長 曾谷 雅俊
電話 (0791) - 62 - 1771 (代表)

平成 31 年 9 月期の業績予想の修正に関するお知らせ

平成 31 年 2 月 13 日に公表いたしました平成 31 年 9 月期（平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 9 月 30 日）の業績予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 9 月期 第 2 四半期累計期間 業績予想の修正

(平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	4,473	167	145	87	16 円 30 銭
今回修正 (B)	4,262	81	58	29	5 円 47 銭
増減額 (B - A)	△211	△86	△87	△58	△10 円 83 銭
増減率 (%)	△4.7	△51.5	△60.0	△66.7	△66.4

2. 修正の理由

売上高につきましては、インダストリーセグメントの受注および売上は順調に推移しましたが、プロフェッショナルセグメントにおいて、インテリア事業部門で糊付機等の機器の買い換え需要が前年に比べて低調であったこと、畳事業部門で畳製造装置の販売について、中小企業庁が実施する「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」を申請する事業者に対してはその採択時期が売上時期に大きく影響し、第 1 四半期は平成 29 年度補正予算での補助金採択先へは予定通り売上できたものの、第 2 四半期は本年 5 月 8 日に申請が締め切られる平成 30 年度補正予算の補助金の活用を計画する事業者が多くなり売上時期が遅延する結果となったこと、コンシューマセグメントにおいて、ソーラ

一発電設備設置の許認可期間が長引いたこと等から、前回予想を2億11百万円下回る42億62百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、主力のプロフェッショナルセグメントの売上が低調で利益率の高い自社製品の売上が伸び悩んだことなどにより、前回予想を86百万円下回る81百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、売上・営業利益の減少等により、前回予想を87百万円下回る58百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、売上・経常利益の減少等により、前回予想を58百万円下回る29百万円となる見込みであります。

3. 平成31年9月期 業績予想の修正

(平成30年10月1日～平成31年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	9,400	477	440	264	49円08銭
今回修正 (B)	9,200	334	295	196	36円45銭
増減額 (B-A)	△200	△143	△145	△68	△12円63銭
増減率 (%)	△2.1	△30.0	△33.0	△25.8	△25.7

4. 修正の理由

売上高につきましては、インダストリーセグメントは上半期に引き続き順調な推移を予想しているほか、各セグメントの事業部門において上半期に遅延した売上は下半期に取り戻した上で、期初に予想した下半期売上高を達成できる見通しであります。プロフェッショナルセグメントのインテリア事業部門は、需要喚起のための多数の新品を準備しているものの、上半期のショート分までも取り戻すことは難しいと予想しており、その結果前回予想を2億円下回る92億円となる見込みであります。

営業利益につきましては、主力のプロフェッショナルセグメントの売上が予想を下回ることに加え、需要喚起のための広告宣伝の強化や運送費の値上がりの影響などから、前回予想を143百万円下回る334百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益の減少等により、前回予想を145百万円下回る295百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、経常利益の減少等により、前回予想を68百万円下回る196百万円となる見込みであります。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。